



たけのこの豊凶対策

「合馬たけのこ」のブランド名で知られる、高品質のたけのこは、ここ数年豊凶差（一般的とされる対前年比 70%程度を大きく下回る 25~50%）が著しく、安定供給に支障がでてきています。

そこで、JA 北九州、北九州市、県森林林業技術センター、八幡農林事務所は、対策会議を発足させて、原因究明と対策について行動を開始しました。



竹齢を色分けし管理されている竹林

具体的には、豊凶差が「著しい竹林」と「そうでない竹林」との管理履歴の比較、土壌調査、竹林所有者から聞き取りを行うなど、実態の把握に努めています。

平成 22 年は豊作の年にあたります。

現在（1 月末）までの所、昨年以上の収穫が期待できています。

裏年が予想される平成 23 年にスムーズな生産ができるように、早急な原因の解明と対策の確立が望まれます。